

しんく200 Jun 27, 2019 12:46 AM

[id2019_win7]上書き保存後にファイルを 複製・消去

This question has been **Answered**.

いつもお世話になっております。

タイトルのスクリプトを書いてみたのですが、危ない所がないか・より効率的な文 法がないかなどご意見賜りたく投稿しました。

やりたいこと

使用しているサーバがファイル消去時にそのバックアップを取る仕様なので、その 自動化。

背景

以前・現行はInDesignCC2015を使用しており、こちらは単純に同じ名前を付けて保 存すればアプリケーションの挙動として消去→新規作成ができていたようでバック アップもとれていたのだが、いつのバージョンからかそれをしなくなった模様。

環境

Windows7_61bit AdobeInDesign2015.5・2019 ESTKにて作成

本文

- 1. #target indesign
- 2. #targetengine "session"
- 3.
- 4. //スクリプトの走るタイミングを定義
- 5. (function(){
- 6. menuList=new Array();
- menuList=["\$ID/別名で保存..."]//ここにメニュー名を追加する ,"\$ID/●メニュー名

```
9. //メニューイベントリスナーを登録
10. for(var ma=0;ma<menuList.length;ma++){
     app.menuActions.item(menuList[ma]).addEventListener("afterInvoke", GoBackUp,
   false);
     }
12.
13.
14. })();
15.
16. //実際に走るスクリプト
17. function GoBackUp(my_event){
18.
19. // アクティブなファイルの名前とパスを取得
20. var myFile = app.activeDocument;
21. var myName = myFile.name;
22. var myPath = decodeURI(myFile.filePath);
23.
24. // アクティブなファイルに "copy_" を付加して、複製ファイル名とする
25. var srcFileName = myPath + "/" + myName;
26. var tmpFileName = myPath + "/copy_" + myName;
27.
28. // ファイルを複製
29. srcFileObj = new File(srcFileName);
30. tmpFileObj = new File(tmpFileName);
31. srcFileObj.copy(tmpFileObj);
32.
33. // 複製されたファイルを削除 → サーバ の trashbox に複製が残る
34. tmpFileObj.remove();
35.
36. }
```

どんなご意見も歓迎いたしますが、基本的に有志の方々のものをベースとしてツギハギで作っているので「ここはなんでこうなってるの」と聞かれても満足に回答できないことがあると思います。

よろしくお願いいたしますm(__)m



オススメなのは、メニューアクションのbeforeInvokeよりも、 app.addEventListener("beforeSaveAs",... です。

これだとキャンセルした場合には発動しないですし、 my event.fullName

で保存しようとしているファイルパスを得ることができます。

File(my_event.fullName).exists

でそのファイルが(保存前に)存在してるかどうか分かります。

これで「上書き保存しようとしているときだけ、上書き前の状態のコピーをと る」ができそうです。

384 Views Tags:

さらに

2 HELPFUL

MOST LIKED



monokano Jun 27, 2019 1:40 AM (in response to $\cup h \leq 200$)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

冒頭で myFile.modified を確認した方がいいような気がします。

1 person found this helpful

Actions -

Edit





Report Abuse

Like (1)



10 A Jun 27, 2019 3:00 AM(in response to しんく200)

Re: [id2019 win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

今回のものは特に「別名で保存」にターゲットを絞っての処理が後ろについていま すから、他のメニューに対して実行する内容ではないと思われます。 ですから冒頭のリスナ登録時のループ処理は必要ではなく、単純に以下のようにリ テラル一つを指定してリスナを登録する形で良いのではないでしょうか。

```
var myListener = app.menuActions.item("$ID/別名で保存...").eventListeners.add('bef
01.
```

var myListener = app.menuActions.item("\$ID/別名で保存...").eventListeners.add('bef 01.



kawamoto_\alpha Jun 27, 2019 8:04 AM (in response to $\cup h \leq 200$)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

これだと「保存したものと同じものがバックアップにも残る」だと思いますけど、 やりたいのは「『別名で保存』を使って上書き保存するとき、前のバージョンを残 す」ではないんです?

☑ Fdit Delete Report Abuse Like (1) Actions -



L \wedge **< 200** Jun 27, 2019 4:59 PM (in response to $\cup \wedge < 200$)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

□ monokano さん ありがとうございます。 たしかにその方が無駄が出ませんね。ifで分岐させればいいのかな。 試行してみます。

■Ten Aさん 例文ありがとうございます。

上書き保存のみならそちらの方が早いですね。

将来の拡張性を考えると今のものも良い気がしますが、とりあえずコメントアウト 等しておいて例文を参考に修正してみます。

 \square kawamoto α さん ありがとうございます。

おっしゃる通りそちらのほうが希望の動作に近いです。単純にafterをbeforeに変え ればいけるのかな。

試行してみます。

Actions -













monokano Jun 27, 2019 9:06 PM (in response to $\cup h \leq 200$)

Re: [id2019 win7]上書き保存後にファイルを複製・消去



```
if (myFile.modified) {
01.
       alert("保存してから実行してください。");
02.
03.
       exit();
    }
04.
     if (myFile.modified) {
01.
       alert("保存してから実行してください。");
02.
03.
       exit();
04.
```



ifで確認して、exit();で処理をやめてしまうのが簡便だと思います。

変更が未保存の状態(myFile.modified が True)でも別名保存はできてしまいます。

オリジナルとコピーの2つが同一であるためには、myFile.modified が False である必要があるでしょうね。



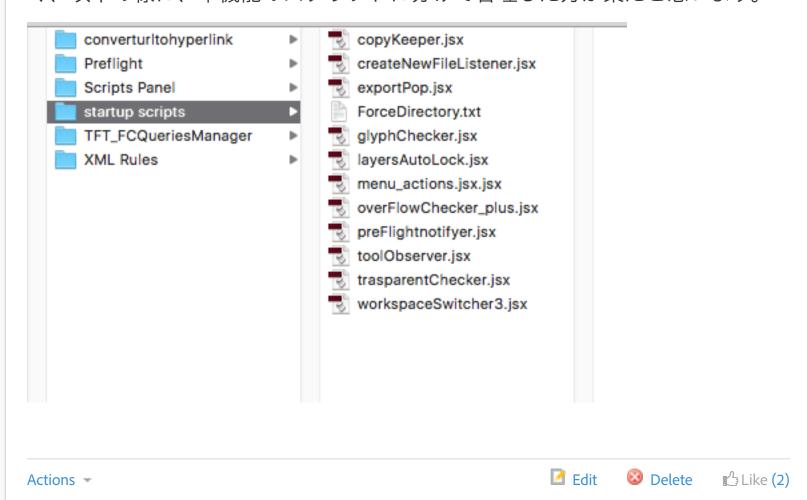
10 A Jun 27, 2019 10:41 PM(in response to しんく200)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

ACP

複数のイベントリスナを加える場合、各イベントに対してハンドラを設定しますので指定する内容が個々に異なります。箇条書き状態で各々記述したほうがコードの見通しが良いでしょう。また、メニューリスト自体は有ってもよいのですが間接的に引数を指定する形になりますから実際に加えられるイベントの種類はを知るためには変数を探して参照する必要があるために変数を定義するメリットよりコードの可読性を阻害する意味の方が大きくなります。

こういったイベント関連のものはスタートアップ時に読み込ませるケースが多く、以下の様に、単機能のスクリプトに分けて管理した方が楽だと思います。





L \(\lambda \) 200 Jun 27, 2019 11:58 PM (in response to 10 A)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

□ monokano さんありがとうございます。

```
コピーは図kawamoto_α さんのおっしゃる通りオリジナルの変更前を希望して
いるので、BeforeInvokeで行こうと思います。
頂いたアドバイスを元にちょっと修正しました。
01. #target indesign
02. #targetengine "session"
03.
04. //スクリプトの走るタイミングを定義
05. (function(){
06. app.menuActions.item("$ID/別名で保存...").addEventListener("beforeInvoke",
   GoBackUp, false);
07. })();
08.
09. //実際に走るスクリプト
10. function GoBackUp(my_event){
11.
12. // アクティブなファイルの名前とパスを取得
13. var myFile = app.activeDocument;
14. var myName = myFile.name;
15. var myPath = decodeURI(myFile.filePath);
16.
17. // ファイルに変更なき場合はスルーするよう分岐
18. if (myFile.modified) {
19.
20. // アクティブなファイルに "copy_" を付加して、複製ファイル名とする
21. var srcFileName = myPath + "/" + myName;
22. var tmpFileName = myPath + "/copy_" + myName;
23.
24. // ファイルを複製
25. srcFileObj = new File(srcFileName);
26. tmpFileObj = new File(tmpFileName);
27. srcFileObj.copy(tmpFileObj);
28.
29. // 複製されたファイルを削除 → サーバの trashbox に複製が残る
30. tmpFileObj.remove();
```

31.
32. }else{
33. exit();
34.
35. }
36. }

1点問題点として「beforeなので上書き保存をキャンセルしても動作してしまう」ということが挙げられますが、何!分レアなケースなので今回は無視する方向で行こうと思います。

■Ten A さんありがとうございます。

確かにメニューを追加・削除したい時に、書き換えるよりファイル自体を外 してしまった方がメンテナンス性も良く簡単ですね。

Actions $\overline{}$ Edit $\overline{}$ Delete $\overline{}$ Report Abuse $\overline{}$ Like (0)



kawamoto_\alpha Jun 28, 2019 12:29 AM (in response to $\cup h \leq 200$)

Correct Answer Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

オススメなのは、メニューアクションのbeforeInvokeよりも、app.addEventListener("beforeSaveAs",...
です。

これだとキャンセルした場合には発動しないですし、

my_event.fullName

で保存しようとしているファイルパスを得ることができます。

さらに

File(my_event.fullName).exists

でそのファイルが (保存前に) 存在してるかどうか分かります。

これで「上書き保存しようとしているときだけ、上書き前の状態のコピーをとる」ができそうです。

1 person found this helpful

Actions - Edit ODelete Report Abuse Liked (4)





Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

□ kawamoto_α さんありがとうございます。

白状しますと有志の方のイベントリスナーを参考にしたのですが「別名で保存」の記述がわからず、メニューコマンドに逃げたのが事の発端です。

SaveAsでいいんですね。ここでファイルパスが取れればもう少し上手 な物が出来そうです。

試行してみます。

Actions -







Like (0)

ほ

しんく200 Jul 3, 2019 6:27 PM (in response to しんく200)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

皆様のお陰で、とりあえず自分の納得する所まで出来たのでこれ を利用していこうと思います。

my_event.fullNameでのファイルパス取得には成功しましたが、これをどう利用するかまでの理解には至りませんでした。

(var tmpFileName = myPath + "/copy_" + myName;この一行の代替 法が分からず)

- 一応最終型を置いておきます。
 - 1. #target indesign
 - 2. #targetengine "session"
 - 3.
 - 4. //スクリプトの走るタイミングを定義
 - 5. (function(){
 - 6. app.addEventListener("beforeSaveAs", GoBackUp, false);
 - 7. })();
 - 8.
 - 9. //実際に走るスクリプト
- 10. function GoBackUp(my_event){
- 11.
- 12. // アクティブなファイルの名前とパスを取得
- 13. var myFile = app.activeDocument;
- 14. var myName = myFile.name;



```
15. var myPath = decodeURI(myFile.filePath);
16.
17. // ファイルに変更なき場合はスルーするよう分岐
18. if (myFile.modified) {
19.
20. // アクティブなファイルに "copy_" を付加して、複製ファイル
   名とする
21. var srcFileName = myPath + "/" + myName;
22. var tmpFileName = myPath + "/copy_" + myName;
23.
24. // ファイルを複製
25. srcFileObj = new File(srcFileName);
26. tmpFileObj = new File(tmpFileName);
27. srcFileObj.copy(tmpFileObj);
28.
29. // 複製されたファイルを削除 → サーバの trashbox に複製が残
   る
30. tmpFileObj.remove();
31.
32. }else{
33. exit();
34.
35. }
36. }
皆様ありがとうございました。
                       Edit

    Delete
                                       Report Abuse
Actions -
                                                    Like (0)
```



kawamoto_a Jul 4, 2019 6:19 AM (in response to $Uh \leq 200$)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去



未保存のファイルで別名保存しようとするとエラーが出ます ね。普通の保存を使えばいいだけではありますが。

それと、

「『別名で保存』を使うが、そのまま現在開いているファイルに上書き保存する」という場合だけを想定するならこれでよいのですが、

「『別名で保存』を使って別のファイルに上書き保存する」 という場合を考えると、関係のない現在開いているファイル がコピーされるだけになってしまいます。

妥協するのはまだ早いのでは

Actions -





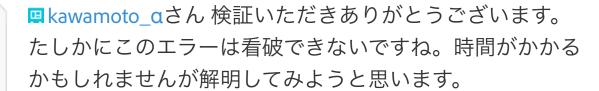


Like (0)

ほ

 $\cup{Uh} < 200$ Jul 4, 2019 6:56 PM (in response to kawamoto_ $\cup{\alpha}$)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去



後半の件はさすがに想定外の用途なので妥協しようと思います。とはいえ、人に使ってもらう際にこういったケースについて言及できるのは大きな財産となりました。

重ね重ね感謝申し上げます。

Actions -







Like (0)



しんく200 Jul 8, 2019 9:55 PM (in response to しんく200)

Re: [id2019_win7]上書き保存後にファイルを複製・消去

お目汚しを承知でもう一度UPします。

if分岐をさらに増やし、新規保存の場合は動かないようにしてみました。

おかげさまで構想していたものよりもかなり良いものが出来ました。

ありがとうございました。

- 1. #target indesign
- 2. #targetengine "session"
- 3.



```
4. //スクリプトの走るタイミングを定義
 5. (function(){
 6. app.addEventListener("beforeSaveAs", GoBackUp, false);
 7. \})();
 8.
 9. //実際に走るスクリプト
10. function GoBackUp(my_event){
11.
12. // ファイルが存在しない場合はスルーするよう分岐
13. if (File(my_event.fullName).exists) {
14.
15. // アクティブなファイルの名前とパスを取得
16. var myFile = app.activeDocument;
17. var myName = myFile.name;
18. var myPath = decodeURI(myFile.filePath);
19.
20. // ファイルに変更なき場合はスルーするよう分岐
21. if (myFile.modified) {
22.
23. // アクティブなファイルに "copy_" を付加して、複
   製ファイル名とする
24. var srcFileName = myPath + "/" + myName;
25. var tmpFileName = myPath + "/copy_" + myName;
26.
27. // ファイルを複製
28. srcFileObj = new File(srcFileName);
29. tmpFileObj = new File(tmpFileName);
30. srcFileObj.copy(tmpFileObj);
31.
32. // 複製されたファイルを削除 → サーバの trashbox
   に複製が残る
33. tmpFileObj.remove();
34.
35. }else{
36. exit();
```



Help | Terms of Use | Privacy Policy and Cookies | Forum Help | Tips for Asking

© 2019 Adobe. All Rights Reserved.